【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【公開番号】特開2008-184184(P2008-184184A)
【公開日】平成20年8月14日(2008.8.14)
【年通号数】公開・登録公報2008-032
【出願番号】特願2007-19195(P2007-19195)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｄ　81/113　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　61/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｄ　81/06　１０２Ａ
Ｂ６５Ｄ　61/00　Ｅ
Ｂ６５Ｄ　61/00　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成21年5月18日(2009.5.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被包装体の対向する両側面を覆うように配置される１対の板状の第１の包装材と、
前記被包装体の前記第１の包装材により覆われる面以外の４面を包装するシート状の第２の包装材と、
前記１対の第１の包装材のそれぞれの天稜部と底稜部を通って、前記１対の第１の包装材と前記第２の包装材とを締め付ける結束バンドと、を備え、
少なくとも一方の前記第１の包装材の天稜部と他方の前記第１の包装材の底稜部とには、当該包装体の前記結束バンドが掛かる位置における周長よりもその外側での周長が大きくなるような傾斜部が形成されるとともに、前記第２の包装材には、前記第１の包装材の傾斜部と重なる辺に前記傾斜部の縁と合致する切り欠きが設けられていることを特徴とする包装体。
【請求項２】
前記結束バンドは、前記傾斜部の最も深くなる位置に掛けられることを特徴とする請求項１に記載の包装体。
【請求項３】
前記一方の第１の包装材の天稜部と、
前記他方の第１の包装材の底稜部には、前記傾斜部がそれぞれ複数形成されるとともに、複数の前記結束バンドが、それぞれの傾斜部の最も深くなる位置に掛けられることを特徴とする請求項１に記載の包装体。
【請求項４】
前記第１の包装材が、前記被包装体の側面部分を嵌め込む凹部を有する緩衝材で構成されるとともに、前記第２の包装材が外装用段ボールで構成されることを特徴とする請求項１～３のいずれかに記載の包装体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
この発明に係る包装体は、被包装体の対向する両側面を覆うように配置される１対の板状の第１の包装材と、被包装体の前記第１の包装材により覆われる面以外の４面を包装するシート状の第２の包装材と、１対の第１の包装材のそれぞれの天稜部と底稜部を通って、１対の第１の包装材と第２の包装材とを締め付ける結束バンドと、を備え、少なくとも一方の第１の包装材の天稜部と他方の第１の包装材の底稜部とには、当該包装体の結束バンドが掛かる位置における周長よりもその外側での周長が大きくなるような傾斜部が形成されるとともに、第２の包装材には、前記第１の包装材の傾斜部と重なる辺に傾斜部の縁と合致する切り欠きが設けられているものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明によれば、被包装体の対向する両側面を覆うように配置される１対の板状の第１の包装材と、被包装体の前記第１の包装材により覆われる面以外の４面を包装するシート状の第２の包装材と、１対の第１の包装材のそれぞれの天稜部と底稜部を通って、１対の第１の包装材と第２の包装材とを締め付ける結束バンドと、を備え、少なくとも一方の第１の包装材の天稜部と他方の第１の包装材の底稜部とには、当該包装体の結束バンドが掛かる位置における周長よりもその外側での周長が大きくなるような傾斜部が形成されるとともに、第２の包装材には、第１の包装材の傾斜部と重なる辺に傾斜部の縁と合致する切り欠きが設けられているので、被包装体の輸送時における荷扱いの際に、結束バンドの横ずれが発生しなくなり、結束バンドの外れを防止できる。